

久米島町全戦没者追悼式

久米島町全戦没者追悼式が、6月23日に上田森公園(慰霊碑)において、執り行われました。

会場には遺族会や関係者をはじめ、約170人が参列しました。厳かな雰囲気の中、参列者全員で黙とうを捧げ、先の大戦で尊い命を失われた方々へ哀悼の意を捧げました。

追悼式には、児童・生徒36人も参加し、千羽鶴などを奉納しました。また、球美中学校3年生の我如古一翔さんが「平和のメッセージ」を朗読し、

戦争の記憶を受け継ぎ、命の大切さや平和への願いを述べていました。

今年度は、球美コーラル楽笑部の合唱が披露され、やさしい歌声が流れる中、焼香を行いました。

戦後81年が経過し、過去の悲しい歴史を繰り返さないために、私たち一人ひとりが命の尊さについて考え、これからも平和なまちづくりを続けていきましょう。



久米島町立球美中学校生徒会長 我如古一翔さん
「平和のメッセージ」

私たちは6月23日、久米島町全戦没者追悼式を迎えました。

今、私の目にうつる久米島は、美しい青い海と空、きれいな緑の木々が広がっています。この平和で穏やかな景色のある久米島で毎日学校に通い、家族や友達と仲良く楽しく過ごしています。しかし、今から81年前の沖縄、そして久米島も今のような平和で美しい景色ではありませんでした。

歴史の授業や総合的な学習の時間で戦争について学び、戦争を経験した人からお話を聞いて、久米島に住んでいた人々が命を奪われたことを知りました。戦争で、未来を奪われてしまった人々の事を思うと、胸が締め付けられます。

今、世界に目を向けると、戦争により傷つく年代の姿が流れています。歴史で学んだ悲劇という名の争いが地球のどこかで繰り返されています。

平和な日常は決して当たり前には存在するものではなく、一人一人が守り続けなければならないのだと強く感じます。

戦争の記憶を忘れず、次の世代に伝えることが今の私たちにできる中学生の使命だと思います。差別をしない。相手を思いやり、多様性を否定しないことから始めたいと思います。

この久米島で起きた悲しい出来事をこれからも忘れません。戦没された方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

※(紙面の都合により、作文を要約・抜粋して掲載しています。)